



毎月2回1日・15日発行

広報

# くしま

12

December.2012  
No.924



ミス六花の皆さん  
～第46回串間市民秋まつりにて～

special feature



## 特集 和牛日本一への軌跡

第1部「悲願の初出品から日本一の快挙へ」

第2部「日本一を支えた人々」

第3部「南那珂畜産の歴史」

第4部「未来への扉を開く」

# 悲願の初出品から日本一の快挙へ



串間市・黒木松吾さん  
出品牛 まみ511



串間市・岩下信さん  
出品牛 つみえ221



日南市・鳥越春枝さん  
出品牛 たまこ3



串間市・吉田正彦さん  
出品牛 きくみ2の2



串間市・鎌田秀利さん  
出品牛 串雅留美

日本一になり、また広報紙に載るといふ約束を果たせました (鎌田)

10月25日～29日にかけて、長崎県佐世保市で開かれた全国的な和牛の品評会『第10回全国和牛能力共進会』（主催・全国和牛登録協会）。

前回覇者の宮崎県が今大会でも全9区分中5区分で全国1位となる優等賞主席を獲得。

このうち、1区分で最高賞の内閣総理大臣賞を受賞しました。

また、都道府県ごとの総合順位を決める団体賞でも1位に輝き、見事連覇を果たしました。

審査を見守る技術員。緊張が走る。



それぞれの思いを胸に。故・徳井忠敏参事の写真と高千穂の仲間から贈られたお守りとともに。



思いをひとつに。



日本一決定の瞬間。引き手を務めた次男・信也くんを見つめる岩下信さん。



最終審査。厳しい視線が注がれる。

## 串間市初の出品で日本一の快挙

「序列が決定されました。第4区優等賞主席、宮崎県」  
場内アナウンスが流れると、観客席からは大きな歓声が沸き起りました。南那珂の牛が『日本一』の栄冠を手にした瞬間です。和牛畜産農家にとっては夢の舞台『全共』。50年の歴史の中で、ただの一度も出品がかなわなかった南那珂の牛が、悲願の初出品で全国一の快挙を成し遂げました。

第4区は同じ系統をくみ、同じ地区で育った雌牛4頭を1組として出品する区分。4頭が同じ特長を持ち、斉一性に優れていなければ出品できない最難関区です。南那珂地区は種雄牛『美福10』の系統で揃えました。串間市の黒木松吾さん（福島地区・木代）、岩下信さん（北方地区・羽ヶ瀬）、吉田正彦さん（本城地区・小田代）がそれぞれ1頭を出品。日南市・鳥越春枝さん出品の1頭と意思をひとつに全共に臨みました。

審査では体積の豊かさ、かつ品位ある身体つきで他を圧倒。会場からも「さすが宮崎」とため息がもれるほど。背中から尻にかけて真っ直ぐに伸びる体上線、骨締まりの良さなどが4頭ともに美しく揃い、高い評価を受けました。

## 最高の栄誉『内閣総理大臣賞』受賞

同じ種雄牛を父に持つ雌牛4頭と肉牛3頭の混成7頭1組で出品する第7区にも串間市の鎌田秀利さん（本城地区・崎田）が肉牛1頭を出品。肉牛は今大会から脂肪交雑（サシ）の入りに加え脂肪の質も評価の対象となり、厳しい審査となりました。鎌田さん出品の肉牛群は抜群の成績を収め、同区肉牛の部で1位を獲得。優れた肉質に贈られる『肉質賞』も受賞しました。同区種牛群は最高賞の『内閣総理大臣賞』を受賞。栄えある栄誉は、ともに第7区で優れた成績を収めた肉牛群にも贈られました。

今回の全共では、串間市から出品した4頭の和牛すべてが優等賞主席を獲得する快挙。南那珂の畜産は優れた牛を生産する能力、そして優れた肉質に育てる能力があることを全国に向け、広く発信しました。



しいの木会会長  
坂藤 政文さん  
(北方地区・羽ヶ瀬)

市内には畜産後継者でつくる『和牛研究グループ』がいくつかあります。そのひとつである『しいの木会』。今回の全共で第4区に出品、見事日本一に輝いた岩下信さんも会員の1人です。ともに向上を目指し、支え合ってきたメンバー。会長の坂藤政文さんに話を聞きました。

「メンバーは9人。先進地視察やセリの反省会、年間優良成績者表彰を企画するなど、互いに刺激を受け合いながら活動してきました。だからこそ、岩下さんの全共出品は本場にうれしかった」と坂藤さん。全共の会場で応援したいとの思いがありました。岩下さんの飼育の世話を買って出ました。「歓喜に沸いた日本一の瞬間に喜び合えなかったのは正直、残念でした」と複雑な思いをにじませつつも「みなそれぞれに役割があると思う」と語ります。そして「JAや行政の人は指導という役割があり、しっかり日本一という成果を持ち帰って来てくれた。グループの役割は支え合い、高め合うこと。留守を預かり、岩下さんを不安なく送り出すことが自分たちにできること」と続けます。

こうして市内2カ所の牛舎にいる計100頭の牛をメンバーがふた手に分かれて世話を担当。「生きものなので病気が心配でした。何事もなく牛が元気でいてくれたので、今はホッとしています」と安堵する坂藤さんです。

## 支え合い、ともに上を目指す和牛研究グループ



全共での留守中、手分けして牛を世話してくれたグループのメンバー。みんながいたから行けた全共であり、とれた日本一だった。出品牛も、ほかの牛もすべてが大事。全共から帰り、家の牛がみな元気でいてくれたこと、世話してくれたメンバーに感謝の気持ちでいっぱい(第4区優等賞主席・岩下信さん)。

# 日本一を支えた人々

〜彼らの支援・導きがあったから〜



何年と牛飼いをしてきて、初めて人の意見を受け入れた。彼らについて行けば、必ず良い結果が出るとの信頼があった(第4区優等賞主席・黒木松吾さん)。

とにかく毎日、牛舎に足を運んで牛の手入れ、調教を指導してくれた。彼らがいれば日本一になれた(同・吉田正彦さん)。

## 心をつなぎ、高みへ導いた技術員

今回の全共では、串間・日南の両市から5頭の牛を出品。『日本一』獲得のため、JAと行政の畜産技術員チームが丸となつて出品牛を指導しました。約4カ月間、通常の業務をこなしつつ、朝夕毎日、出品牛の手入れに励んだ日々。第4区出品牛を指導し、当日は出品介助者を務めたJAはまゆう畜産部主幹・井手幸彦さんに話を聞きました。

「JAはまゆうからは自分のほか3人(串間市・和田康秀さん、同・武田克樹さん、同・吉田安伸さん)と、串間市役所(串間市・武田則英さん)と日南市役所(日南市・山倉一浩さん)から1人ずつの計6人の技術員で出品牛を世話しました。6人を3人ずつ、日南と串間の2手に分け出品牛を担当。毛並みを整えるためのシャンプーにブラッシング、美しい体づくりと調教を兼ねた引き運動、立たせ方などの確認を徹底してやりました」

担当した4区は4頭1組の出品区で、4頭の連携が最も重要。ときに



JAはまゆう畜産部主幹・技術指導員  
井手 幸彦さん

は出品者に厳しいことを言わなくてはならない場面もありました。「自分たち技術員は手入れをし、結果を出すことで理解を得られるよう努めてきました」と井手さん。また、出品者間の連携を強化するため、互いの牛舎を訪ね飼育状況を確認し合うなど『調整役』も努めました。

全共を終えた今、こう語ります。「大切なのは人と人とのつながりです。自分たち技術員は、先人たちの思いを引き継いできました。今回の日本一は、今までの改良で良かったということの証明になりました」。

一朝一夕には成し得ない改良だからこそ、すでに次を見据えている井手さん。「5年後の宮城全共では地元の種類牛『秀菊安』で日本一を獲得したい」と気持ちを新たにしています。

## 日本一への苦悩

5年前の鳥取全共。南那珂地域には焦りがありました。種牛の部で過去1度も県代表になれずにいきました。JAはまゆづの奥村友博さんは当時を振り返ります。「悔しかった。出品技術に相当な差がありました。恥ずかしいと同時に、先人たちに申し訳ないという気持ちでいっぱいでした」。

その後、小林や高千穂といった先進地に技術員を派遣し、多くのことを吸収しました。「技術はもちろん、精神面で学ぶことが多かった。牛に対して責任感を持って臨むようになりましたね。良い刺激を受けました」。

その努力が実を結んだ、日本一。精神的に支えてくれたものがありました。「先人たちの思いは、いつも感じていました。厳しい指導をしてくれた先輩たち。自分たちを信じてくれた農家の皆さん。彼らがいたから、今の自分たちがある。そう思っています」。

次回からは追われる立場になった南那珂。「日本一にあぐらをかいていると言われぬように、今後の県の共進会などで負けるわけにはいきませぬね。これまでに以上に頑張ります」。

## 日本一の市場にしたい

1人の消費者として、わたしたちにもできることがあります。

「年6回、南那珂地域家畜市場で開かれる子牛の競り市で、南那珂地区の牛肉を買うことができます。多くの人に安心・安全で確かな品質の串間の牛を口にしてほしいですね。今後は店頭にも『串間産』の牛肉を並べるなど、もっと気軽に『日本一の肉』を味わえるようにしたいです」。これからの目標を聞くと、「南那珂地区を日本一の市場にしていきたいです」。力強い言葉に、先人たちの思いを受け継いだ姿を見ました。

## 先人たちの思いをいつも感じていた

JAはまゆづ畜産部畜産業務課 課長補佐

奥村 友博さん

長崎全共での日本一を支えた技術員のリーダー。



# 南那珂の畜産 その歴史の重みと 現在の姿

## 絆を大事にしてほしい

元JAはまゆづ畜産部 長年南那珂の畜産を見つめてきました。全共の日本一を見届け、10月末に退職。

中山 満彦さん



## 共に歩んだ歴史

今回の全共に向けて第4区は、県内すべての地区で『美福10』という種雄牛の系統牛から選出しました。1970年代に活躍し、県内の牛の資質・品位の向上に大きく貢献。初めて貸し出されたのは南那珂地区でした。その歴史を知る中山満彦さんはこう話します。「美福10が導入されたことで南那珂の畜産は一気に変わりました。また、串間で産まれた隆美号という牛は、その特色を最も色濃く引き継ぎ、広く伝えることに貢献しました」。

南那珂地区ではそれらの優秀な血統を守りつつ、長年改良を重ねてきました。「牛の改良は成果が出るのに最短でも7年という多くの時間が必要なんです。農家さんにとってはデメリットの方が大きい。それでも協力してくれる農家さんたちの理解があつてこそできることなんです。上手く時代の波に乗れず、子牛が売れない時期もありました。県の共進会に出られなかったときは悔しくて、情けなかった。だからこそ今回の全共での日本一という成績は、本当にうれしかった。みんなの思いが花開いたのですから」。

## 絆を胸に

今回の日本一という快挙。若い世代の技術員が大きく貢献しました。「技術面ではわたしはもう、かないません。今回の経験でまた大きく成長したことを思います」。彼らの今後を語る時、中山さんの目には涙がにじみます。「何よりも絆を大事にしてほしいですね。それは農家との絆であり、技術員同士の絆、牛との絆。人と人、人と牛がつながっていないければ、畜産は成り立たないということを忘れないでほしいです」。中山さんの言葉は、南那珂の畜産が歩んできた歴史を映すかのように、重みあるものでした。

日本一はゴールではありません(長友)

### 次代を担う者たち

「南那珂地区は若い世代の頑張りが目立った」と全共を振り返る長友さん。夢の舞台で日本一に輝いた、

2人の若者がいました。

1人は深江将央さん(大東地区・市ノ瀬1区)です。全共に関連して行われた和牛審査競技会・後継者の部で最優秀賞を受賞。「和牛4頭をあらゆる角度から評価し、序列をつけるという競技。彼の牛を見る目やセンスが高く評価されました」とのこと。

深江さんは県の最終選考に4区代表の候補として臨みましたが、4頭に絞り込む段階で落選。その後は長友さんの指導の下、競技会への準備を進めながら代表者をサポート。出品者を支えながら、自らも見事日本一に輝きました。

もう1人は第4区に出品した岩下信さんの次男である岩下信也くん(高鍋農業高校・2年)です。代表牛480頭の引き手の中で最年少。17歳という若さで堂々と大舞台に立ちました。長友さんは「引き手には牛をしつかりと立たせ、より美しく見せる技術が要求される」と話します。

信也くんは長崎への出発式で全出品者を代表して宣誓を行いました。「大好きな牛たちと共に、仲間の分まで頑張ります―その力強い姿に、南那珂の未来が重なるって見えました。

# 未来への扉を開く

### 南那珂にとつての維新

先人たちの積み重ねてきた改良の成果、思いの結晶といえる日本一。「今回、南那珂地域は種牛の部、肉牛の部ともに優秀な成績を収めました。この貴重な経験は、農家はもちろん技術員、畜産に関係するすべての人々の中で大きな『自信』という形で実を結んだといえるでしょう。若い世代は先人の築き上げてきた思い、その礎を、身をもって理解できたはずです」。

大きな実りを得て新しい一歩を踏み出した南那珂の畜産。「新たな扉が開かれました。それは、彼らが着実に二歩一歩、足元を見つめながら前進していくための扉です。今回の全共のテーマ『和牛維新』。まさに南那珂にとつての維新であり、今後の歩みに期待が持てます」。

長友さんの最後の言葉が、南那珂のこれからを示します。「日本一は

全国和牛登録協会宮崎県支部  
業務部長  
長友 明博さん  
チーム宮崎を全共初の二連覇に導いた長友明博さんが語る  
南那珂の畜産の未来。

ゴールではありません。一つの通過点なんです。先人の夢見た未来を乗り越えた南那珂の畜産は、次の未来へと歩みを進めていきます。

岩下 信也くん  
(高鍋農業高校・2年)



「将来は肥育も繁殖も行う一貫経営をしたい。肥育でも日本一を狙います」

深江 将央さん  
(大東地区・市ノ瀬1区)



「まずは南那珂のトップを狙いたい。次は2、3区で全共優勝を目指します」

# 大東中央保育園の『ぎんなん』

子どもたちを見守る銀杏が、今年もたくさん実をつけました

今月はこれからの季節、美しい黄葉を楽しませてくれる銀杏の実『ぎんなん』をご紹介します。

ぎんなんといえば、強烈なおおいを放つ実。または茶碗蒸しに入っている黄色い実としてよく知られているちよつと脇役的な存在です。

そんなぎんなんを主役にしてくれたのは、大東中央保育園で『給食の先生』を務める京塚いつ子さん。同保育園の園庭に『たわわ』と実ったぎんなんを11月3日の市民秋まつりで無料配布していました。

「ぎんなんに触れると肌がかぶれることがあるので、裸足で駆け回ることがあるのです。」



京塚いつ子さん

旬の味覚を楽しんだ後は黄葉という楽しみが待っています。落ち葉が金色のじゅうたんのようきれいです。



子どもたちのために毎日、拾うんです。生のぎんなんに簡単でおいしい食べ方があると知った数年前からは、秋まつりで配布しているんですよ」といつ子さん。それにしても、あの強烈なおおいの実を下処理するのは大変そう。尋ねてみると、楽しそうにこう答えてくれました。

「拾った実を一晩水に浸して、柔らかくなった果肉をこすって落とす。そして種を3日間天日に当てて乾燥させればできあがり。最近では、子どもたちも拾うのを手伝ってくれるのがうれしくて、ぎんなんは少しずつ熟して少しずつ落ちるので、毎日コツコツ拾ってはコツコツ洗う。今年は300個ほど貯めたかな」子どもたちの健康と安全を願いながら拾ったぎんなん。捨てることがなく、ひと手間もふた手間もかけて白く磨かれた旬の味覚は少し苦いけれど、優しい気持ちになれる味でした。

【ぎんなん】  
ぎんなんはイチョウ科イチョウ属の落葉高木「銀杏」の果実。食用部分は果肉ではなく、種子の中の胚乳部分である。栄養価が高く、もちもちした食感で独特の風味と苦味が特徴。美しい翡翠色をしている。



## いつ子さんおすすめ簡単レシピ ～翡翠色の炒りぎんなん～

### ※用意するもの

- ・ぎんなん(生) …… 適宜
- ・塩 …… 適宜
- ・紙封筒または新聞紙

### ※つくりかた

- ①紙封筒にぎんなんと塩を入れ、電子レンジ(600W)で加熱する。  
\*ぎんなん10個につき40秒が目安。
- ②加熱すると殻が割れるので、中の仁を取り出していただく。  
\*殻が割れない場合は、ペンチなどで割るとよい(加熱しすぎると、実の水分が抜け固くなる)。



# 笑う鬼には、福きたる

見る人みんな、大笑い

鮮やかな色彩と豊かな表情で、見る人を笑顔にしてくれる『鬼』がいます。今回は、紙粘土で鬼の人形を製作している兵頭良光さん(北方地区・上塩)にお話を聞きました。

塗装業を営む兵頭さん。仕事や晩酌をしながら浮かんだアイディアを作品にしてきました。

「24時間、仕事にも思いつきません。でも晩酌してるときが一番ひらめきますね」と大笑いしながら話します。

作品の多くは昔話やテレビの登場人物に扮した鬼。「架空の生き物の方がパラエティに富んだ表情や色をつけられるんですよ」と兵頭さん。『がつくり姫』や『タツノオトシ頃』など、とんちの利いた名前がつけられています。

子どものころからひょうきん者で有名だった兵頭さん。とにかく人を笑わせるのが好きとのこと。「人を笑わせるには自分も楽しんで作らな



きゃ」と創作の極意を語ります。作業中、作品を見た人の笑うところを思い浮かべて自分まで笑ってしまうときがあるそうです。「人の笑顔を想像するのが一番楽しい」。そんな兵頭さんの最初の『お客さん』は、笑顔が素敵な奥さんです。

奥さんを題材にした『わが家のおっ家内』と名付けられた鬼の作品。『八福神』として七福神といっしょに並べられています。「普段はおつかない鬼だけど、わが家の一番の福の神なんですよ」。

そう話す兵頭さんの照れくさそうな笑顔は『福の神』のおかげなのかもしれません。



兵頭 良光さん(53歳)

(鬼楽工房)  
『目の表情』をつけるのに一苦労。目だけで全体の印象が全然違うのが面白いですね。それも楽しみの1つ。



シャンシャン馬に乗る花嫁。この表情に、お客さんも兵頭さんも大笑いです。

## まちの話題 プラス 叙位伝達式がありました

元申間市議会議員で勲五等双光旭日章を受けている故鈴木鐵郎氏がこのほど正六位に叙され、11月5日、市役所で市長からご遺族に位記が伝達されました。鈴木氏は昭和46年から申間市議会議員を5期20年にわたり務められ、議長や副議長、文教厚生常任委員会委員長などを歴任され、地方自治の発展に多大な貢献をされました。これまでのご功績に改めて感謝申し上げるとともに、ご冥福をお祈りいたします。



市長室で行われた叙位伝達式



## My Town Topics まちの話題

市内の話題や出来事などを写真を交えて紹介します。

Scene 6

### 統計調査の貢献に感謝状



11月19日、宮崎県庁で『平成24年度統計功績者表彰式』があり、申間市の小田原ハナエさん（都井地区・東）に感謝状が贈られました。今回の感謝状の交付は、経済産業省が所管する統計調査に対するもので、小田原さんはこれまで工業統計や商業統計など計16回の統計調査を担当。ほか国勢調査など多くの調査にも協力され申間市の統計行政の推進に貢献されました。



#### INTERVIEW 会話が楽しい

都井地区・東在住  
小田原ハナエさん

統計調査員をした回数は、自分でも数えきれないほど。苦に思ったことはありません。みなさん快く協力してくれ、会話がとても楽しいです。感謝状をいただき、調査員も終わりがかな...と思っているのですが、次の統計が待っているようです（笑）。

Scene 5

### 21世紀生き抜く力を伝授



11月9日、申間市文化会館で申間青年会議所創立35周年記念講演として、九州ルーテル学院大学客員教授の大畑誠也氏が「悪戦苦闘能力を身につけよう!」と題して講演。校長として多くの学校に赴任し、生徒数増加に成功した経験を、大きな身振りで紹介しました。あいさつや手伝いなどが教育の基本であるという話に、約500人の観客が聞き入っていました。



#### INTERVIEW 子育ての役に

延岡市在住  
吉本治子さん

これから子育てをしていくのに、とても役に立つ講演でした。特にお手伝いをさせることが仕事に役立つという点が印象に残っています。子どもが将来夢のある仕事ができるよう、わたし自身も夢を持って子育てをしていきたいと思いました。

Scene 4

### 社会の一員を自覚就業体験



11月5日～7日の3日間、福島高校2学年の生徒84人が市内26事業所で就業体験（インターンシップ）をしました。同体験は社会を支える一員としての自覚と、働く目的を理解するために実施。市役所では5人の生徒が研修しました。初日は緊張気味だった生徒も、最終日には和んだ表情で、すっかり職場の一員といった雰囲気。働くことの意義を学んだ3日間でした。



#### INTERVIEW 多くを学んだ

福島高校2年  
加村秀弥くん

総合政策課で広報の取材に同行し、カメラの使い方を教わりました。「人物」を撮るのはおもしろかったです。誤字脱字を修正する「校正」の作業も興味深く感じました。これまで知らなかったパソコンの機能も学ぶことができ、良かったです。

Scene 3

### 健康への理解を深めよう



11月3日、第30回市民健康ウォークが開かれ約120人が参加（主催：市スポーツ推進委員協議会）。地域生活支援センターWingを発着点とする3kmと6kmの2コースに分かれ、それぞれに汗を流しました。同イベントは1週間に1回以上30分以上の運動を推進する『みんながスポーツ1130県民運動』の一環で開催。健康への理解を深める良い機会となりました。



#### INTERVIEW 孫と共に参加

福島地区・南金谷在住  
隈本知子さん  
田村琉葵くん(孫)

昨日から泊りに来ていた孫を連れて参加しました。普段、運動することがあまりないので、運動公園の展望台への階段がとてもきつく感じました。孫は先頭を切って歩いていたので、ついて行くのに必死（笑）。でも、とても楽しかったです。

Scene 2

### 和の共演古民家と和雑貨



11月2日から4日にかけて旧吉松家住宅で『吉松邸まつり』があり、約1,400人が訪れました。織物や一閑張りといった伝統工芸品をはじめ、木工雑貨や苔玉など多くの作品を畳の上に展示。出展者からは「大正時代の建物と作品がとても合う。お客さんとも座り込んで話せて楽しい」という声も聞かれました。多くの人が作品との出会いを楽しんでいました。



#### INTERVIEW 素敵な雰囲気

大東小・4年  
林菜月さん  
吉田心優さん

2人で遊びに来ました。素敵な置き物や洋服がたくさん見られて、すごく楽しかったです。どの作品も、和風な感じが建物にとっても合っていると思います。特に鬼の人形が面白かったです。繊細な技術で作られていて、すごいなと思いました。

Scene 1

### 男子厨房へ誘う料理教室



10月25日、総合保健福祉センターで男性料理教室があり、13人が参加しました（主催：福祉保健課）。家族から借りたというエプロンを身につけた参加者は3品の調理に挑戦。指導に当たった食生活改善推進員も驚くほどの手際の良さで料理を完成させていました。また、栄養士による高血圧予防や減塩に役立つ調理法などの講義もあり、熱心に聞き入っていました。



#### INTERVIEW 初めての料理

福島地区・西今町在住  
中原鉄矢さん

初めて参加しました。普段、料理は家内任せですが、今日の調理は楽しかったです。朝ごはんを遅めに、しかもしっかり食べてきたので試食が進むか心配でしたが、結果は完食。とてもおいしかったです。また、次回も参加してみたいですね。



# 串間温泉いこいの里 リニューアルオープン

新しい食と健康の拠点施設へ生まれ変わりました。

- 入浴料  
500円（中学生以上）  
300円（小学生）
- リフレ館  
500円（中学生以上）  
300円（小学生）
- 休館日 毎月第3水曜日
- 開館時間 午前10時～午後10時

- 湯つたり館  
300円（中学生以上）  
150円（小学生）
- 共通利用料  
700円（中学生以上）  
400円（小学生）
- 問い合わせ先 11-2000



## 皆さまを笑顔に

まずは基本的なことを徹底します。清掃やお客様への細かいサービスなど、小さいことから変えていきます。そして「安心・安全」はもちろん、福祉・文化・スポーツなどあらゆる点で市民の癒しの場になれることを目指します。温泉内のお食事処「本城亭」にも期待してください。地元の食材にこだわった料理を提供します。「いこいの里の味」を確立していきたいですね。

わたしは温泉のある道場地区の出身です。とことん「串間」にこだわって運営を行っていきたくですね。市民の皆さまが本当に満足していただける、帰るときには笑顔で帰っていただけるような温泉でありたいと思っています。



串間青果地方卸売市場社長  
**渡会哲夫**さん

## 子育て支援

### 家庭児童相談員とは

家庭児童相談員とは、家庭における児童養育（子育て）に関することや児童に係る家庭の人間関係に関する相談を受けて、助言・指導などを行う人のことをいいます。

串間市では男女2人の相談員が、総合保健福祉センター（串間市民病院となり）に設置されている家庭児童相談室にて、家庭で子ども（18歳未満）を育てる際のさまざまな悩みや心配事について、相談に応じています。

### 相談の受付

相談は、家庭児童相談室で直接会って受ける面接相談のほか、電話での相談にも対応しています。匿名での相談もできます。

また、必要に応じて地域の民生委員・児童委員や学校、保健所など関係機関と連携・協力して相談指導を行います。

さらに、児童相談所が行う定期巡回相談の受付や連絡なども行っています。

定期巡回相談とは、都城児童相談所の児童福祉司または心理判定

## 子育て支援情報

# 「子育てに関する悩み、何でもご相談ください」

12

家庭児童相談員は、お子さんの健康と幸せを保護者の皆さんと一緒に考えていきます。



みななど気軽に話しに来てみませんか？  
だれかに話をすることで、悲しいこと、苦しいことは薄まっていき、楽しいことうれしいことは濃くなっていきます。ぜひ、その手助けをさせてください。

### 相談窓口

#### 家庭児童相談室

- 相談時間 平日（月～金）午前9時～午後4時まで
- 直通電話 ☎ 72-5783
- 問い合わせ先 福祉保健課子育て支援係 ☎ 72-0333（内線502・503）



員が対応する相談です。より専門的に障がいに関する相談および家庭児童に関する相談を行います。毎年、2カ月ごとに6回程度実施しています。

受け付けた相談内容の秘密は守りますので、安心してご相談ください。

家庭児童相談員から皆さんへ  
・今村勝哉相談員

家庭児童に関する悩みごとには育兒、しつけ、虐待、いじめ、不登校、非行、発達障がいなどいろいろなものがあります。子育ては大変な仕事です。わたしたち相談員は、相談者の心の一助になればと対応しています。どうか一人で悩まずに、気軽にご相談ください。

### 森本明子相談員

皆さんが今、内に秘めている子育て、孫育ての苦労や自慢、楽し

年末年始の業務取扱日程

年末年始の業務取扱日程は下表のとおりです。市役所は12月29日から1月3日まで一部を除き、業務を行いません。

この期間中の死亡届および火葬については、市役所警備員が受け付けます(庁舎北側の宿直室)。

ごみ収集など各種業務については、下記施設へお問い合わせください。

スポーツセンター年末年始施設開放のお知らせ

● 開放施設(有料) 市民総合体育館、市総合運動公園(陸上競技場は除く)

● 期間 12月29日(土)～平成25年1月3日(木)

\* 各種施設のほか陸上競技場についても、平成25年1月4日から平常通り利用できます。

● 開放時間 午前9時～午後5時

● 申込方法 電話予約を受け付けますが、体育館事務所で申し込みます。

年末年始の業務取扱いについてお知らせします

長い休みに入る前に、ごみ収集や各種届け出などの業務日程を確認しておきましょう。

務所で申し込み手続きが必要ですが(申し込み責任者は市内の方に限る)。

\* 施設利用者へお願い  
後片付け、コート整備は個人の責任で実施すること。

グラウンドコンディショニングが不良の場合は絶対に使用しないこと。大会などでの使用はできません。1回の申し込みで3時間程度の使用を限度とすること。

使用料は平成25年1月11日までに納入すること。

トイレなど公衆衛生面について注意を払うこと。その他管理者の指示に従うこと。

● 問い合わせ先 串間市民スポーツセンター ☎ 72-5262

平成24年度 年末年始業務の取扱

市役所は12月29日から1月3日まで一部を除き業務を行いません。この期間中の死亡届および火葬については、市役所警備員が受け付けます(警備員 72-1111)。  
受付場所は庁舎北側にある宿直室です。なお、ごみ収集・処理および尿処理についての連絡先は下表施設へお問い合わせください。

月 日	12月											1月			
	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日	4日
曜日	(金)	(土)	(日) 祝日	(月) 振替	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火) 祝日	(水)	(木)	(金)
じん芥処理場直接搬入可燃ごみの受入れ	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	×	×	○
じん芥処理場直接搬入資源ごみの受入れ	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
じん芥処理場直接搬入粗大ごみの受入れ	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○
黒潮環境センター直接搬入(不燃・資源ごみ)	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
可燃ごみ収集業務	○	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	×	○
不燃・危険ごみ収集業務	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
粗大ごみ収集業務	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○
資源ごみ収集業務	○	×	×	コンテナ配布	○	○	○	○	×	×	×	×	×	コンテナ配布	○
生ごみ収集業務(事業所分)	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	午前のみ	×	○
エコクリーンセンター(エコ肥料引替)	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○
葬斎場業務(火葬)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
火葬等受付	○	警備受付	警備受付	警備受付	○	○	○	○	警備受付	警備受付	警備受付	警備受付	警備受付	警備受付	警備受付

注意) 1. 資源ごみ受け入れについて : 12月30日(日)は資源ごみの受け入れを行いません。23日(日)か26日(水)をご利用ください。  
2. 可燃ごみの収集・受け入れについて : 12月31日(月)は通常どおり可燃ごみの収集を行います。施設でのごみの受け入れは行いません。  
30日(日)が年末最後の可燃ごみの受け入れ日です。  
1月2日(水)は家庭ごみの収集を行いません。燃やせない・危険ごみ収集は1週ずらして、第2週～第5週水曜日にそれぞれ行います。  
3. 1月の不燃ごみ収集日について

【凡例】

○	業務日
×	休業日
	土曜・日曜・祝日
	仕事納め後の役所休業日
警備受付	警備員火葬受付

● 施設電話番号(問い合わせ先)

施設名	電話番号
じん芥処理場	☎ 72-1193
葬斎場	☎ 72-3000
エコクリーンセンター	☎ 72-0196
黒潮環境センター	☎ 68-1560

● 受付時間

- じん芥処理場  
午前9時～正午、午後1時～4時半
- 黒潮環境センター(日南市榎原)  
午前8時45分～11時半、午後1時～4時半



【Information】

「生涯学習だより」

子どもからお年寄りまで、仲間と一緒にいろいろなことを学んだり楽しんだり、生涯学習にチャレンジしましょう。

今回は、いたちみろかい!! くしまんスポーツフェスタの様子などをお知らせいたします。

さわやか学級移動研修

串間市さわやか学級では、各地区学級の交流を目的に、年1回の日帰り研修を実施しています。本年度は、10月10日に136名の学級生の参加のもと、宮崎日日新聞社佐土原センターや古事記編さん1300年ということでみそぎ池や江田神社を訪ねました。

佐土原センターでは、運よく印刷しているところを見ることができ、あつと言う間に新聞が出来上がっていくことに皆さん驚かれたようでした。車中では、クイズなどを楽しんだり、見学した施設の話で会話が弾んでいました。来年度も楽しい研修を計画したいと思います。皆さんもぜひ、さわやか学級に参加してみませんか。



さわやか学級移動研修

平成24年度「青少年の声を聞く会」

児童生徒の皆さんが、日常生活体験の中でどのようなことを感じ、どのようなことを考えているのか? 小学生11名、中学生6名、高校生2名が発表します。子どもたちの素晴らしい発表に耳を傾けてみませんか。

- 日時 平成25年1月20日(日) 午後1時半～4時半
- 場所 串間市文化会館(大ホール)
- 発表者 市内小・中・高校生
- 主催 串間市青少年育成市民会議・串間市教育委員会

いたちみろかい!! くしまんスポーツフェスタを開催

10月8日に体力づくりとニュースポーツの紹介・普及を目的に「いたちみろかい!! くしまんスポーツフェスタ2012」を開催しました。

当日は、約60名の参加のもと、普及率の高いグラウンドゴルフをはじめ、ビーチボールバレーやバスケットボール、さらにはフライングディスク協会の協力を得て、フライングディスク競技にもチャレンジしました。今回は、8つの種目を体験しました。初めての種目もありましたが、和気あいあいと楽しそうにプレーさ



くしまんスポーツフェスタ

れてました。

平成24年度串間市成人式

- 日時 平成25年1月13日(日) 午前10時半～11時20分(受付) 午前11時20分～正午(オープニングアトラクション、スライド上映会など)
- 正午(式典)
- 午後零時50分～1時(抽選会)
- 午後1時～2時(記念撮影)
- 場所 串間市文化会館
- 対象者 平成24年4月2日から平成25年4月1日までに生まれた方

※市内に住所がある方は後日、案内を送付いたします。また、市内に住所のない方につきましては、受付を行っておりますので、教育委員会までお申し込み下さい。

● 問い合わせ先 串間市教育委員会 生涯学習課 ☎ 内線379



こんにちは、**福島高校**です！

# 魅力ある福島高校の取り組み ～自ら学び 表現力ある福高生～

今回は10月12日に行われた福島県立福島高等学校との交歓会についてお伝えします。

わたしが  
レポートします。



福島高校2年生  
生徒会長  
わたる  
萩原 渉くん

皆さんこんにちは。11月から新生徒会長になりました萩原渉です。初めての投稿です。よろしくお祈りします。

## 福島県立福島高校合唱部を招待

今回の交歓会は、口蹄疫・鳥インフルエンザ・新燃岳などの災害に対する温かい支援に対し、東日本大震災へ少しでも恩返しをするため、同じ校名という縁から、福島県立福島高校（以下「FF」）の合唱部を串間市に招待し、交流を図るものです。交歓会は、わが福島高校（以下「MF」）の胡桃太鼓同好会の演奏から始まり、お互いの学校紹介、FFの

震災復興活動紹介、FF合唱部の演奏などが行われました。

合唱は、全国レベルということで、歌声に圧倒されました。その後、ホストファミリーの生徒との交流会があり、1日目を終えました。

2日目の夜には、MFの生徒（34人）とFF合唱部（28人）、そして両校の職員、市の関係者の方々が集まり、食事が行われました。

料理は福島県と宮崎県の郷土料理が振る舞われ、豪華な食事に舌鼓を打ちました。食事会の最後にはプチ火まつりも行われ、協力したり競ったりと絆を深めました。

今回の交歓会で、人とのつながりに遠い、近いといった距離は関係ないのだと改めて感じました。



## インタビュー



福島県立福島高校  
合唱部  
高橋 潤部長

### Q1. MFや串間市の印象は？

—高橋部長 皆さまに温かく迎えていただき感激しました。MFは落ち着いた雰囲気の中で校内がきれいで良い学校だと思いました。胡桃太鼓は一条乱れぬ素晴らしいアンサンブルで圧倒されました。串間市は自然豊かで風景がとてもきれいです。特に、海の鮮やかさが印象的でした。

### Q2. 合唱部の紹介をしてください。

—高橋部長 合唱部は男子高校時代から続く伝統ある部活動です。何度も全国大会で入賞しています。わたしたちも全国大会を目指しています。「心に響く音楽」を目指して、毎日練習を重ねています。皆さまに聴いていただくことが一番の勉強だと思っています。コンクールだけでなく、演奏ができる機会を大切にしています。児童施設などいろいろな場所で演奏しています。定期演奏は年1回で、今年で54回目を迎えました。これからも、より多くの人たちの心に響く演奏ができるように頑張りたいと思います。

### Q3. みんなに伝えたいことは？

—高橋部長 福島は着実に元気になっていることと、みんなからの応援や支援に感謝の気持ちを伝えたいです。FFはSSH（スーパーサイエンスハイスクール）にも指定されており、復興に向けていろいろな活動をしています。自分たちができることを精一杯やっというと思っています。これから先も、福島が復興していく姿をずっと見守ってください。



# Health Knowledge 健康マメちしき

## 食事の最初のほうに野菜を食べる

当院の手術は大部分が午後からスタートのため、午前中は術前・術後診察や健診、禁煙外来、内科外来などに従事しています。前回のこの講座担当時は、禁煙外来についてお話させていただきました。今回は健診に関連したメタボリックシンドロームについて少しお話させていただきます。

### メタボリックシンドロームとは？

メタボリックシンドロームという言葉は、かなり一般の方にも浸透してきていると思われませんが、今一度、簡単に説明させていただきます。内臓脂肪が原因で高血糖、脂質異常、高血圧などを引き起こし、それらが重複した場合には動脈硬化が進行し、心筋梗塞や狭心症、脳卒中などの命に関わる、あるいは後遺症を残す心臓血管系の疾患に罹患する可能性が高くなるもので、その原因は生活習慣がひとつと考えられています。

生活習慣が原因であるならば、生活習慣を改善すればいいわけです。しかし、健康診断時に「メタボですよ。予備群ですよ。食事と運動などの生活習慣の改善をしてください」といわれても、今すぐどうかなるといつか危機感が少なく症状もないことや、我慢して生活習慣を改善し

ても、長生きが保障されるわけではないので、生活習慣を改善するつもりはないという方もいますし、改善したほうがいいと思っても、面倒・おっくうなどで、なかなか改善に結びついていない方がいらっしゃるのも事実です。

### メタボリックシンドロームの本質は？

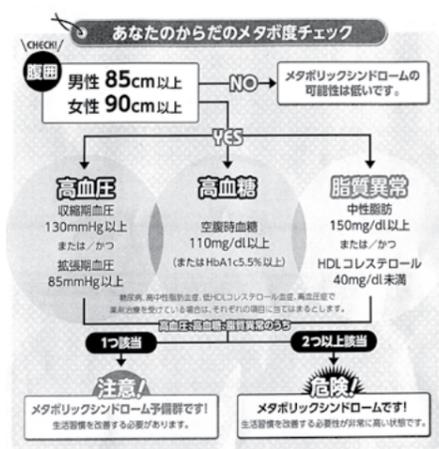
血糖値の上昇はインスリンというホルモンを分泌させます。そのインスリンによって糖は細胞内に取り込まれ、糖がエネルギーとして使用されるのです。

ところが、エネルギーとして使われずに余った糖は中性脂肪へ変わり、脂肪細胞に蓄えられていきます。つまり食後の過剰な高血糖が肥満・内臓脂肪をつくるわけです。

### 生活習慣の改善

具体的な生活習慣の改善とは①運動②食事として、喫煙している方は禁煙を推奨されています。そこで、今回は生活習慣の改善を始めるきっかけとして、食事療法のひとつの方法、食事の最初のほうに野菜を食べる食事法をご紹介します。野菜を食べる食事法をご紹介します。野菜を食べる食事法をご紹介します。

ある研究によると、ご飯を先に食べるのに比べ、野菜サラダを先に食べてからご飯を食べるのでは食後の血糖上昇がゆっくりとなり、食後血糖のピーク値も抑えられる。そのメカニズムは食物繊維が糖質の吸収を遅らせることが考えられ



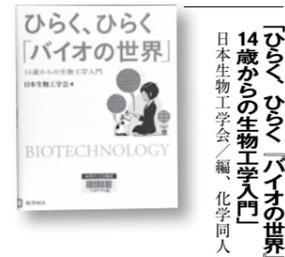
著：串間市民病院・麻酔科  
医師 田原 正路

Masamichi Tahara

# Kushima Library

●串間市立図書館 ☎72-1177 ●開館=午前10時～午後6時 ●休館日=毎週月曜日 <http://www.kushima-lib.jp/>

●各自治会・施設・団体を対象にした移動図書館の巡回先を募集中 ●  
移動図書館車で巡回し、その場で本を選んでいただき、本の貸し出しや返却を行います。土日可。



「ひらく、ひらく」バイオの世界  
14歳からの生物工学入門  
日本生物工学会／編、化学同人



「テディ・ロビンソンとサンタクロース」  
作・絵・小宮由／訳  
ロビンソン



12月のテーマ展示  
「クリスマス特集」

バイオではどんな生物を研究するの？ どんな薬がバイオでつくれるの？ バイオテクノロジーに関する70の項目を豊富なイラストと写真を交えたQ&A形式でわかりやすく解説します。

くまのぬいぐるみのテディ・ロビンソンは、世界中のどこよりもデボラのうちが大好き。表題作ほか「テディ・ロビンソンほっきょくぐまになる」など、おかしくて、かわいくて、あったかい6つのお話を紹介します。

クリスマスを題材にした絵本や物語、ごちそうのレシピにプレゼントのラッピングまでさまざまな役に立つ楽しい本を集めました。子どもからお父さんお母さんまで、ぜひ一度手に取ってご覧ください。

参加ご希望の方は図書館まで！

## 12月のイベント情報 クリスマスおはなしかい

クリスマスの絵本の読み聞かせや工作などを行います。  
少し早いクリスマスをお楽しみください。  
◎日時= 12月16日(日)  
\*午前10時半～  
◎場所= 図書館2階会議室



## ■交流員レポート／第9代国際交流員アレックスの日本体験記

先月のレポートでは一番好きな季節(秋)について話をしましたが、今回は嫌いな季節について少し話をさせていただきましたと思います。  
冬なんです。わたしの出身地であるインディアナ州の冬は串間より寒く、たぶん日本の東北地方と似ている気候だと思えます。毎年雪が降り、たまに吹雪にもなります。しかし、小さいころからそういったインディアナの寒い気候の中で暮らしていたにもかかわらず、寒いのが本当に嫌いなんです。地球温暖化が進んでもいいんじゃないかと思うくらいですね。ちなみに雪は大好きです。自分の好き嫌いが大変矛盾していると思えますが、雪の隠れた魅力をここで一つ挙げます。  
雪がよく降る地域でも、ものすごく珍しい「雪まくり」という現象があります。積もっている雪が自然にロールケーキのような形になる絶妙な現象です。風の速度がちょうどいいなど、特定の条件が満たされていないとできないので、毎年雪が積もるインディアナ出身のわたしでも人生で1回しか見ていないんです。



英会話教室にて、誕生日のお祝い

今月の表現  
This month's expression  
連絡を取り合う stay in touch  
私たちは何年も連絡を取り合っていました。  
We stayed in touch for years.

です。できたときはすごく数多くあちこち現れるので大変面白いと思います。  
さて、12月14日に日南市油津の赤レンガ館で恒例の国際クリスマスパーティを開催しますのので、参加したいという方は串間市役所の総務課へ連絡をお願いします。  
最後に、先日26歳になりました。英会話教室の方々などに祝っていただいていた大変うれしかったです。これからも串間でどんだん年を取っていきなりたいと思いますのでよろしくお願ひします。

## 一部免除を受けたときは残りの保険料の納付を忘れずに

国民年金の保険料には、本人・世帯主・配偶者の前年の所得が一定額以下の場合には、申請して承認されると納付が免除される制度があります。このうち、4分の3免除、半額免除、4分の1免除は、納付すべき

保険料の一部が免除されることから一部免除といえます。

この一部免除を受けた保険料の残りの保険料、つまり免除を受けていない保険料は、必ず納めなければならない。納付されないと免除が承認されても保険料未納期間となってしまうので、ご注意ください。

## 国民年金(第1号被保険者)の届出を忘れていませんか？

国民年金は、日本国内に住所がある20歳以上60歳未満のすべての方が加入する制度です。届出を忘れると、

将来年金額が少なくなったり、年金を受給できなくなる場合があります。

次のようなときは忘れずに届出を行いましょ。

- ・20歳になったとき(厚生年金・共済組合の加入者を除く)
- ・会社を退職したとき
- ・配偶者が退職したとき

\*配偶者が退職し、会社員や公務員などの被扶養配偶者でなくなったときに必要です。  
※会社や官公庁などに勤めている方

の被扶養配偶者になるときは、その方の勤務先への届出になります。

- ・収入が増え、被扶養配偶者でなくなったとき
- ・住所・氏名が変わったとき
- ・海外に居住し、任意加入する場合
- ・海外から帰ったとき

●問い合わせ先 市民生活課市民係 ☎内線225・226、都城年金事務所 ☎0986-2312571

## 子どもの歯を守る

### 乳幼児フッ素塗布のご案内

フッ素は歯の質を強化します。乳幼児を対象にしたフッ素塗布を次のとおり実施します。

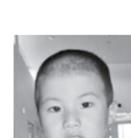
- 日時 12月19日(水)  
※午後1時～1時半
- 場所 総合保健福祉センター2階『すこやか広場』
- その他 開催の案内は個別通知

## むし歯ゼロのお友だち

10月10日に行われた3歳児健康診査で、むし歯がなかったお友だちを紹介いたします。

ません。年3回になるようフッ素塗布を受けると効果があります。  
●問い合わせ先 福祉保健課子育て支援係 ☎72-0333 (内線504)



 清水 柚希ちゃん ◎西小松	 武田 七海ちゃん ◎上町	 河野 三四郎くん ◎鍛冶屋
 佐藤 希香ちゃん ◎西小松	 山下 力也くん ◎港	 竹下 瑠呂ちゃん ◎西小松2区
 吉田 愛莉ちゃん ◎上新町	 加藤 乃愛ちゃん ◎西小松1区	 渡邊 夢真くん ◎今町
 山口 虎太郎くん ◎西小松1区	 西村 凌空くん ◎西小松1区	 南 蓮くん ◎西小松1区
 井元 魁皇くん ◎天神	 谷口 怜未ちゃん ◎大平	 松田 彩人くん ◎西小松2区

# お知らせのページ

市役所の代表電話 ☎0987-72-1111

## お知らせ

### 串間市臨時職員登録のお知らせ

串間市役所で臨時職員としての勤務を希望する方は事前にご登録ください。必要に応じ登録された方の中から選考を行い勤務していただきます。

- ◎**募集職種**＝一般事務・看護師・保育士など
- ◎**勤務する場所**＝市役所本庁または出先機関
- ◎**登録期間**＝登録した年度内
- ◎**任用期間**＝最大12カ月
- ◎**勤務時間**＝原則午前8時半～午後5時15分
- ◎**賃金**＝日額5,800円～7,800円  
\*職種によって異なります
- ◎**採用方法**＝登録された方に連絡後、面接または書類選考により採否を決定します。  
\*登録されても必ず採用されるとは限りません。また、採用は選考によるもので、登録の順番によるものではありません。
- ◎**申込方法**＝所定の登録申込書または市販の履歴書に必要事項を記入し、郵送または持参。  
\*登録申込書は総務課または市ホームページにて入手可。
- ◎**問い合わせ先**＝総務課職員係 ☎内線312・313

### 12月は地球温暖化防止月間です

平成9年12月に京都で気候変

動枠組条約第3回締約国会議（COP3）が開催されたことから、12月が「地球温暖化防止月間」と定められました。あらためてその重要性を認識していただき、地球温暖化防止のために皆さまの積極的なご協力をお願いいたします。

◎**問い合わせ先**＝市民生活課環境保全係 ☎内線252

### 毎月20日は「県内一斉消毒の日」です

毎月20日は畜舎などの消毒を徹底しましょう。

- ・畜舎入口への石灰散布
  - ・踏み込み消毒槽の設置
  - ・畜舎の消毒
- 飼養衛生管理基準を守っていますか？

- ①定期的な畜舎・器具の消毒・清掃の実施
  - ②畜舎に出入りする際の手指などの消毒
  - ③外部からの人・車両の進入制限
  - ④外部からの導入家畜の隔離
- 伝染病から家畜の命を守るのはあなた自身です。口蹄疫の教訓を生かし、日本一安全・安心な畜産を目指しましょう。

◎**問い合わせ先**＝農林水産課 ☎内線423

### シラスウナギの特別採捕についてのお知らせ

12月6日から平成25年3月21日まで、県内各河川において、県内における増養殖用種苗の供給を目的としたシラスウナギ（うなぎの稚魚）の特別採捕が行われます。採捕できるのは、漁協の組合員などで知事の許可を受けた者であり、許可を受けていない者が採捕すると、犯罪行為として処罰されます。

また、「うなぎ稚魚の取扱いに関する条例」に基づく県の登録を受けずに、全長25cm以下のうなぎ稚魚の所持・売買などを行った場合も同様に処罰されますので

ご注意ください。  
◎**問い合わせ先**＝宮崎県農政水産部水産政策課漁業・資源管理室 ☎0985-26-7146

### 平成24年工業統計調査を実施します

工業統計調査はわが国の工業の実態を明らかにすることを目的とした統計法に基づく報告義務のある重要な統計です。



調査結果は中小企業施策や地域振興などの基礎資料として活用されます。調査時点は12月31日です。調査票へのご回答をお願いいたします。

◎**問い合わせ先**＝総合政策課企画統計係 ☎内線334

### 海技士（大型）免状更新失効講習のお知らせ

今年も年1回の大型免許の更新・失効再交付講習を開きます。なお、乗船履歴のある方は乗船履歴での更新が可能です。

- ◎**日時**＝12月21日（金）  
海技士（航海）＝午前9時半～（午前9時受付）  
海技士（機関）＝午後1時半～（午後1時受付）

- ◎**場所**＝宮崎県立高等水産研修所
- ◎**持参物**＝海技免状、印鑑
- ◎**料金**＝10,700円（更新）  
17,000円（失効）  
\*写真代、送料込み

◎**参加資格**  
更新＝航海、機関とも1～6級  
失効＝航海、機関とも4～6級  
までで失効して5年以内

◎**ボート免許更新講習は、宮崎県立高等水産研修所にて毎月開催しています。**

今年度は平成25年1月7日（月）、2月5日（火）、3月5日（火）の午後1時から開催します。

◎**主催**＝J E I S九州支部  
◎**問い合わせ先**＝西岡海事事務所 ☎0120-76-5554（通話無料）

### いのちの森作り 第5回植樹祭と森のアート体験

地球の生き物にとって大切な「水」と「空気」を守ってくれる「森」をみんなで育てましょう！  
木材や木の実、カズラなどを使ってブローチ、キーホルダー、リースなどを作ってみましょう。森のステージも作ります。エネルギー（油）を作る木、ヤブツバキとドングリのなる木を植えます。

◎**日時**＝12月9日（日）午前9時半～午後2時（午前9時に串間市役所から送迎バスが出発）  
\*小雨決行、荒天時は12月16日（日）に延期。

◎**場所**＝自然体験施設Camp権代内の山林

◎**料金**＝大人700円、子ども300円（3歳以下は保険料100円のみ）

\*保険、移動用バス、昼食、木工作品などの持ち帰り料金も含む。

◎**持参物**＝軍手、水筒、スコップ、マイ食器（カレー用の皿、スプーン）

◎**申込期限**＝12月7日（金）

◎**問い合わせ先**＝環境ボランティアグループ環の会（河野さん） ☎090-1199-5496

### 国の教育ローンのご案内

◎**ご利用いただける方**  
ご融資の対象となる学校に入学、在学される方の保護者で、世帯の年間収入（所得）が次表の金額以内の方

扶養している子どもの人数	給与所得者（事業所得者）
1人	790万円（590万円）
2人	890万円（680万円）
3人	990万円（770万円）
4人	1,090万円（860万円）
5人	1,190万円（960万円）

\*6人以上の場合はお問い合わせください。

◎**特例要件**  
上記の金額を超える方であっても、世帯の年間収入（所得）が990万円（770万円）以内であって、次の特例要件のいずれかに該当する方はお申込みいただけます。

- ①勤続（営業）年数が3年未満
- ②居住年数が1年未満
- ③返済負担率（借入申込人の借入金年間返済額／年間収入（所得））が30%超
- ④借入申込人またはその配偶者が単身赴任
- ⑤ご親族などが要介護者または要支援者であって介護費用を負担
- ⑥ご親族などが高額療養費制度または難病患者などに対する医療費の公的助成制度を利用している方であって療養費用を負担
- ⑦大規模災害により被災（東日本大震災を含む）

\*世帯の年間収入（所得）には世帯主のほか配偶者などの収入（所得）も含まれます。  
今年の世帯の年間収入（所得）が上記の金額以内となる見込みのある方（特例要件に該当することになる方を含む）はご利用いただける場合があります。ご親族などでもご利用いただける場合があります。

◎**融資額**＝お子さま1人あたり300万円以内

◎**利率**＝年2.45%（母子家庭は年2.05%）

◎**返済期間**＝15年以内（交通遺児家庭、母子家庭は18年以内）

\*災害特例措置では18年以内  
◎**用途**＝入学金、授業料、教科書代、アパート、マンションの敷金、家賃など

◎**返済方法**＝元利均等毎月払い（ボーナス増額返済も可能）

◎**保証**＝（公財）教育資金融資保証基金

◎**問い合わせ先**＝教育ローンコールセンター ☎0570-008656（ナビダイヤル）、03-5321-8656

### 県立産業技術専門校高鍋校販売実務科入校試験募集

県立産業技術専門校高鍋校の販売実務科は、知的障がい者の方が職業に必要な基礎的な知識や技能が得られるよう開設された訓練科です。社会人として必要なマナーをはじめ、教室に設けられた模擬店舗内での接客や商品包装・陳列などの訓練のほか、企業での職場体験実習も行います。修了生は、小売店、製造業、障害者雇用特例子会社などに就職しています。

◎**募集人員**＝10人  
◎**訓練期間**＝1年間（平成25年4月～平成26年3月）

◎**募集対象者**＝県内在住の知的障がい者で、身辺処理が自立しており自力通学が可能で、集団生活および職業訓練を受講することに支障がないと認められる者。また、公共職業安定所長の受講指示が受けられる者

◎**募集期間**＝12月3日（月）～21日（金）

◎**試験日**＝平成25年1月21日  
◎**提出書類**＝入校願書、健康に関する調書、療育手帳の写し（または判定書の写し）

◎**問い合わせ先**＝県立産業技術専門校高鍋校 ☎0983-23-0523

### 日曜給油店変更のお知らせ

本紙11月15日号に掲載した日曜給油店について下記のとおり変更がありましたのでお知らせします。

- ・富山都井店は井手都井店に変更
- ・坂元本城店は営業しません。



このページは読者の皆さんからの声にふれあう場です。いろいろな声をお寄せください。

今月のこのコーナーは、10月にお寄せいただいたお便りを中心に紹介いたします。

### 活動に参加しませんか

●串間市「話し相手ボランティア」代表・古川啓之さん  
間市民の皆さん、わたしたちは、串間市『話し相手ボランティア』の会員一同です。

串間市内では、多くのお年寄りや障がいを抱えた人が、人と人のつながりを求めて生活しています。わたしたちは、串間市全域でその人たちとさまざまな情報や話題を提供して、穏やかで和やかな日常生活を送っていただける、元気になる活動をしていきます。



●連絡先 古川さん ☎72-6198

この活動はこれからも一般社会から広く求められ、また行政も支援してくれています。串間市民の皆さん！あなたも活動に参加しませんか。

古川さん、そして会員の皆さん、お便りありがとうございました。社会貢献には、この

ような活動もあるのですね。興味のある方社会貢献をしてみたい方、ぜひお問い合わせをどうぞ。

### 頑張っ来ててください

●タンポポさん

この度全国和牛日本一を目指し、全国和牛能力共進会が佐世保市で10月25日より3日間開かれる。5年に1度開かれるので「和牛のオリンピック」と言われるそうです。串間市から初の宮崎県代表牛が誕生し、代表入りをされた畜産農家の皆さんもさぞかしうれしく、また大会への意気込みで多少のプレッシャーを感じられて大変なこと存じます。また、本人や牛にもストレスがかかることで、うが、すでに調整は順調とのことですので人も牛もどうぞ充分に気を付けて頑張っ来ててくださいませ。

タンポポさん、お便りありがとうございました。すでに存じのとおり『第10回全国和牛能力共進会』で見事、宮崎牛は日本一となりました。串

間市からの出品牛4頭すべてが初挑戦で、すべてが『優等主席』を受賞の快挙。うち1頭が最高賞の『内閣総理大臣賞』に輝きました。串間市にまた誇れるものが誕生しましたね。

### 惜しい気がします

●中村晃一さん

串 間市病院には、いつもお世話になっています。特に最近では整形外科（中央処置室）が多い。待ち時間は廊下の十字路の腰掛けで過ごす。「フト」見ると、大きな絵に気がきました。暗くてよく見えないので近寄って見ると、「採花の頃」と題した大作品である。

病の人々の癒しにと掲げられているのですが、ほとんどの人々が、この絵に注目することもなく「せわしく」行き来しています。病院内で最も暗いところに、この大作が眠っているように見えて惜しい気がしています。

中村さん、串間市民病院のご利用、そして同コーナーへ

のお便りの送付、どうもありがとうございました。担当部署へお便りを届けました。

### 市民病院がお答えします

ご意見ありがとうございました。市民の皆様から寄贈された絵画などを館内随所に展示しております。整形待合室横に掲示して

います「採花の頃」は、教育委員会からお借りしているもので、作者の岩下資治氏は串間出身の方と聞いております。ご覧のとおり100号の大作なので掲示する場所に苦慮し、直射日光が当たらず、重量物も掲示できる今の場所に掲示したのですが、照明などに配慮が足りなかったと反省しております。今後、照明などに工夫をしたいと思っております。産婦人科待合や皮膚科前などにも心癒され、元気が出る絵画を掲示しておりますので、今度来院されたときは院内を探検してみてください。

●百野達夫さん  
月のこと、妻が「背中や腰が痛い」と言い出

先

●北方初田地区高齢者クラブの皆さん

11月4日(日)イルカランドにたち、大黒でござをくたきたと。イルカショーが終わったあと、イルカが陸にあがってきたよ、おっとみと一緒に写真撮ったよ。全国水族館でここだけやけな。孫を連れち、またいかないかんね。

●松本昌子さん

今年5月、姉妹都市ブラジル・イビウーナ市を訪問した串間市訪問団の皆さんにいただいたブラジル産巨大カボチャの種。

こんなに大きく育ちました。畑には10個ほどの実が実っているのですが、実をつけたのはうちだけのこと。友好の証なので、大切に育てていきたいです。

●北方初田地区高齢者クラブの皆さん

11月4日(日)イルカランドにたち、大黒でござをくたきたと。イルカショーが終わったあと、イルカが陸にあがってきたよ、おっとみと一緒に写真撮ったよ。全国水族館でここだけやけな。孫を連れち、またいかないかんね。

●松本昌子さん

今年5月、姉妹都市ブラジル・イビウーナ市を訪問した串間市訪問団の皆さんにいただいたブラジル産巨大カボチャの種。

こんなに大きく育ちました。畑には10個ほどの実が実っているのですが、実をつけたのはうちだけのこと。友好の証なので、大切に育てていきたいです。

### お便り・投稿募集しています。

下記QRコードをご利用ください(紙面に限りがあるので、すべての投稿を掲載することができないことがあります。あらかじめご了承ください)。

- ①名前(ペンネーム可) ②連絡先 ③コメントを必ず添えてください。 ④Eメールアドレス info@city.kushima.lg.jp



お便りお待ちしています。

### 伝言メッセージ例

#### じいじ・ばあばへ

じいじ、ばあば、いつもありがとう。たくさんたくさん長生きして、一緒に遊んでね。

アビちゃん

### メッセージ・写真投稿コーナー

お誕生のお祝いや、感謝の気持ちをメッセージにして贈りませんか。また、あなたが撮影した写真(人・風景・ペットなんでも可)もぜひ、お送りください。



今年5月、姉妹都市ブラジル・イビウーナ市を訪問した串間市訪問団の皆さんにいただいたブラジル産巨大カボチャの種。こんなに大きく育ちました。畑には10個ほどの実が実っているのですが、実をつけたのはうちだけのこと。友好の証なので、大切に育てていきたいです。

●松本昌子さん



11月4日(日)イルカランドにたち、大黒でござをくたきたと。イルカショーが終わったあと、イルカが陸にあがってきたよ、おっとみと一緒に写真撮ったよ。全国水族館でここだけやけな。孫を連れち、またいかないかんね。

●北方初田地区高齢者クラブの皆さん

◎石川千穂

# くしまとふくしま、 母なる大地



別れするとき。見送りの人々へ感謝の気持ちを校歌にのせて。

宮崎県にも、『福島高校』がある。— その話を耳にしたのは3年前、全国高等学校総合文化祭が宮崎県で開催されたとき、合唱部門の福島県代表として参加し、宮崎市のメディアキット県民文化センターで本番を待っているときでした。そして今回、わたしたちは串間市の皆さまのおかげで、宮崎の福島高校、そして、くしまを訪れることとなりました。

新幹線、飛行機、バスを乗り継いで到着した『福島高校』。わたしたちを迎えてくれた生徒さんや先生たちの笑顔と横断幕。初めて来たはずなのに、ずっとここにいたかのような、母校に帰ってきたかのような懐かしい雰囲気を醸し出す校舎。初めは緊張していた生徒たちも次第に気持ちがほぐれ、体育館では真剣なまなざしで聴いてくださる福島高校の皆さまの前で、とても気持ちよく演奏することができました。そして、わたしたちが校長室でごあいさつをしている間に、あつという間に両方の『福高生』は仲良しになり、気がつくともホームステイでお世話になるご家庭へと出発してしまっていました。

翌朝、文化会館に集合した生徒たちはいろいろな体験を経て、すっかり串間になじみ、それぞれの串間で一夜の話題で盛り上がりました。そして、幸島と都井岬を案内していただきました。幸島の野生のサルの群れ、都井岬の雄大な自然と伸び伸びと草を食む野生の馬たちの姿に生徒は歓

声をあげ、動物たちや素晴らしい景観にただただ感激していました。しかし同時にこの素晴らしい自然をあるがままに残していくために、多くの人々が手をかけていること、大自然の営みが健やかに続くためにどれほどの努力が必要なのかということを学びました。そのようにして、串間の皆さまに愛され、守られている自然は何という美しさなのでしょう。野生の馬が日々一口一口食んでできた自然の芝の見事さ、その向こうには水平線で青く溶け合う空と海。「あまりに美しく言葉にできない…」私の隣を歩いていた男子生徒がポツリと独り言をもらしました。しかし、串間の自然に感動しながらも、心の片隅には大地震と津波と原発事故で汚染された大地を抱えるフクシマへの複雑な思いがありました。特別に用意していただいたミニ火まつりで、勇壮な胡桃太鼓の音に励まされ、大蛇の口に投げ入れた植木君の火は、福島の復興へ向けての熱い思いを燃え立たせてくれるように感じました。

最終日の市民文化祭。白バラコールの皆さまと声を合わせた「大地讃頌」の一節がわたしの耳によみがえります。「大地を愛せよ 大地に生きる人の子ら その立つ土に感謝せよ」。大地を愛することとはどんなことか、愛されている大地はどれほど美しいか、それを教えてくれた串間の皆さまに心から感謝します。

# 想 随想



Profile

いしかわちほ  
(48歳)

福島県福島市在住。福島県立福島女子高等学校卒業。お茶の水女子大学文教育学部音楽教育専攻卒業。ピアノを遠藤秀一郎、若松淳子、北川暁子の各氏に、声楽を桜田葉子、佐藤峰子の各氏に、指揮法を久保田悠太香氏に師事。現在、福島県立福島高等学校音楽教諭、同合唱部顧問

## 「岬の駅」都井岬 イベント情報

misakistation toimisaki

# 「岬の駅」都井岬 TEL 0987-76-1111

## 都井岬 秋のフォトコンテスト

都井岬の自然風景・野生馬・植物・昆虫の写真など、お1人2枚までご応募いただけます。

- 応募締切=12月28日(金) \*消印有効
- 結果発表=平成25年1月11日(金) 午前10時に「岬の駅」都井岬ホームページにて発表。受賞者には直接ご連絡します。
- 作品展示=1月12日(土)~31日(木) 岬の駅1Fロビー
- 応募形態
  - ・作品はすべて印画紙(銀塩タイプ・インクジェット両方可)によるプリント。
  - ・サイズはA4・2Lサイズのみ。
  - ・カラー、モノクロ両方可。
  - ・単写真のみ(組写真は不可)
  - ・10月1日以降に撮影されたものに限る。
  - ・都井岬の自然風景、野生馬、植物、昆虫などの写真を募集。
- \*作品の裏面に、住所・氏名・年齢・連絡先・撮影場所・作品のタイトルをご記入したものを貼付してください。

●応募・問い合わせ先=〒888-0221 串間市大字大納字御崎42-3「岬の駅」都井岬 TEL 76-1111



**読者プレゼント**  
お便りをくださった方の中から抽選で2名様に「レストランお食事券(春駒松花堂弁当)」をプレゼント。  
※応募締切は12月31日(月)当日消印有効です。

## ミス六花の皆さん



11月3日に第46回串間市民秋まつりがあり、約15,000人が訪れました。恒例のパレードには子どもからお年寄りまで43団体1,100人が参加。よさこい串間音頭や、各地域の伝統芸能を披露しました。市内6地区から選ばれた『ミス六花』もあでやかな和風姿でパレードに花を添えていました(写真左から田中亜子さん、井手絵梨花さん、山口幸さん、野辺瑞希さん、武田恵理さん、河野由加里さん)。ステージイベントも行われ、多くの人でにぎわいました。

## 市民憲章

- わたしたちは、
1. 豊かな自然を大切に、これをいかしましょう。
  1. お互いを信じ、心をあわせ、平和で明るいまちをつくりましょう。
  1. 健康で働くことに誇りをもち、豊かな住みよいまちをつくりましょう。
  1. だれにも親切にし老人をいたわり、子どもに夢と、しあわせをあたえましょう。
  1. 教養を高め文化のまちをつくりましょう。

◎市の木/そてつ◎市の花/かん  
◎市の鳥/めじろ◎市の花木/山桜  
◎人口19,794人(前月比-47人)  
男9,170人 女10,624人  
世帯数8,351世帯

(平成24年11月1日現在)  
\*平成22年度国勢調査からの推計人口です。

## FROM EDITOR'S

**日** 本一の瞬間。涙があふれて止まらなかった。立ち会えたことに心から感謝した。彼らの夢へと向かう姿、みなを思いやる気持ち。学んだものは数えきれない。その感動を目いっぱい詰め込んだ広報紙が出来たと、信じている(シ)

**魅** せられてしまった。牛の美しさとお改良の奥深さ。興味は尽きない。そして串間にまた1つ、誇れるものが誕生したことを心からうれしく思う。これから、わがまちを紹介するときには「和牛日本一のまち」と伝えていきたい(サ)

## おたよりお待ちしております

◎この広報紙を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、掲載内容に関する質問、串間市への思い、あなたの身近な出来事、何でも好きなことを書いてください。

↓点線に沿って切り取り、官製葉書に貼り付けてお使いください。

888-8555

## 串間市役所総合政策課 情報政策係 行

(No.924/2012.12)

◎ご氏名  
フリガナ

年齢/ 歳 性別/ 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所

電話 ( )



2012年12月1日発行 (毎月2回1日・15日発行)

発行/串間市役所

編集/総合政策課情報政策係

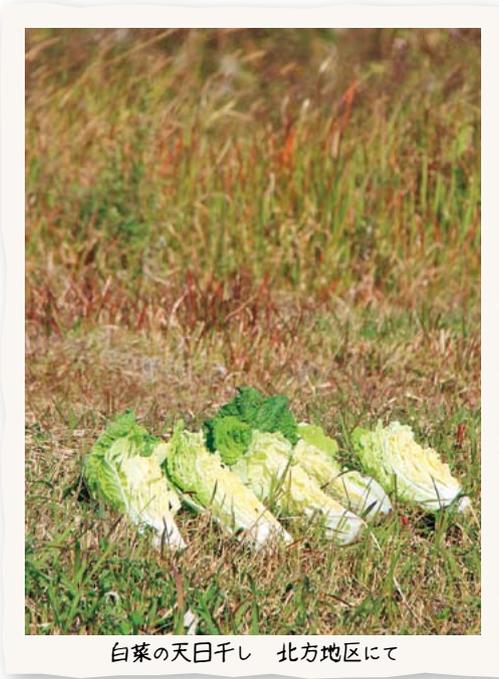
〒888-8555 宮崎県串間市大字西方5550番地

TEL 0987-72-1111 FAX 0987-72-6727

http://www.city.kushima.lg.jp/

Eメール: info@city.kushima.lg.jp

印刷/有志布志新生社印刷串間支店



白菜の天日干し 北方地区にて

## うた ごよみ

### 「俳句」あさひ俳句会選

喪中葉書に断たれし縁十二月

淡抜けし柿にかんばせ感じをり

大門坂下りし果ての石路明り

おだやかな舌径こはばの軸や冬座敷

草紅葉休耕田の群れ鴉

寺里谷口秀子

八ヶ谷川崎永伯

春日元栄子

仲町藤原淑子

上小路本田ハズエ

### 「短歌」串間さざなみ歌会選

よしよしの男の子指さし「オウオウ」とわれに知らせり蟻の行列

散歩道こんなところに秋桜のひそかに咲きてわれ楽しめます

菊の花朝露ごとに膨らんで秋明菊に負けず咲きゆく

蝶ひとつ見ざりしままに花季すぎ紫つるなの粒実運なる

手際よく包みほどきし我の手に記憶のかおりとびの干物が

東塩町越中谷祥子

寺里甲斐勝子

本町中野良子

寺里山崎百合子

埼玉県山崎良平

\*短歌、俳句の投稿は  
■短歌 山崎百合子さん (☎72-2620)  
■俳句 本田 義男さん (☎72-5280)

【お詫びと訂正】 8月号の当コーナーに掲載した、山崎百合子さんの短歌の中の「露」は「梅雨」の間違いでした。お詫びして訂正いたします。

